

ベビーゲートを安全に使いましょ！

注意喚起リーフレットを作成しました

令和2年2月13日、東京都商品等安全対策協議会から、東京都に対して、ベビーゲート等の使用の推奨、耐衝撃性の向上等の安全対策が必要であるとの提言が行われました。

東京都では、事業者団体、消費者団体、子育て支援団体、国等と連携して、事故防止のための注意喚起リーフレットを作成し、普及啓発を進めていきます。

◆リーフレットの概要

どんな時に事故が起きているかという点や、子供を事故から守るための対策について、イラストを用いてわかりやすくまとめました。
(A4判両面三つ折6頁 カラー版 10万部作成)

○このようなときに事故が起きています

☆ベビーゲートを閉め忘れた、ベビーゲートが外れたなど



閉め忘れて、キッチンで火を使っているときに足元に子供が来た。
(1歳4か月・台所)

自分でベビーゲートを開けようとしてガタガタ揺らして外してしまった。
(1歳4か月・階段の上)



○子供を事故から守るために

☆ベビーゲート等を積極的に使用しましょ

- ・使用により、階段からの転落や台所でのやけどを防ぐなど事故防止につながります。

☆安全に配慮したベビーゲート等を選びましょ

- ・より強固に固定できる、ねじどめ式や固定用カップをつけたつっぱり式の商品
- ・オートクローズなど安全対策機能のついた商品
- ・国内の安全基準にはSG基準、海外の安全基準にはEN基準、ASTM基準があります。商品を選ぶ際には参考にしましょ。

☆使用上のポイント

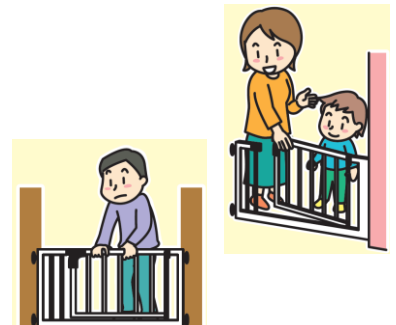
- ・取扱説明書等で適切な固定方法を確認しましょ。
- ・水平な床面で、固定に必要な強度や材質の壁や柱がある所に取り付けましょ。
- ・階段の上では、ねじどめ式や固定用カップをつけたつっぱり式の商品を、扉が階段側に開かないように設置しましょ。
- ・完全に閉まるか、緩みがないかなど、定期的に確認し、必要に応じて固定しなおしましょ。
- ・ベビーゲートの開閉は、手などを挟み込まないよう注意し、また閉め忘れがないか確認しましょ。



リーフレットは、ホームページからダウンロードできます。



SG基準に適合していることを示すSGマーク



◆配布先

都内の保育所、子育てひろば、各区市町村の保健所、消費生活センター、ベビー用品専門店、小児科、産婦人科等に配布します。

詳しくはこちらをご覧ください。


https://www.shouhiseikatu.metro.tokyo.jp/anzen/kyougikai/r1/r1-5_leaflet.html



【問合せ先】

東京都生活文化局消費生活部生活安全課
電話 03-5388-3082 (直通)